



ロータリーは
分かちあいの心

国際ロータリー第2630地区

高山中央ロータリークラブ WEEKLY REPORT

2007~2008年度 高山中央RC会長テーマ

第750回 「^{りく} ^{りょく} ^{きょう} ^{しん}
戮 力 協 心」 H20・3・31

〈点 鐘〉会長 松之木 映一さん

〈ソング〉奉仕の理想

〈出席報告〉

本日の出席…31名 出席率…72.09%

前々回の補正…32名 出席率…74.42%

〈ビジター紹介〉

高山西ロータリークラブ 鍋島 勝雄様

高山西ロータリークラブ 扶土 貞吉様

〈ゲスト紹介〉

社会福祉法人 飛騨慈光会

常務理事 田近 美津子様

〈幹事報告〉 副幹事 足立 常孝さん

◎ガバナー事務所より

・ロータリーレートについて

4月1日より 1\$ = 98円

〈高山都市提携委員会より〉

・平成20年度高山都市提携委員会会議開催のご案内

日時：4月22日（火） 11：00～12：00

場所：高山市役所4階 中会議室

〈飛騨高山国際協会より〉

・平成20年度飛騨高山国際協会

実務者連絡会議開催のご案内

日時：4月10日（木） 13：30～

場所：高山市役所2階 201会議室

・平成20年度飛騨高山国際協会通常総会開催のご案内

日時：4月22日（火） 10：00～11：00

場所：高山市役所4階 中会議室

〈会長の時間〉松之木 映一さん

皆様こんにちは。

今第80回の選抜高校野球が開催中ですが、高校野球はベスト8の戦いが面白い野球と言われています。私が甲子園で高校野球を初めて観戦したのは、今から38年ぐらい前ですが、外野席で無料で応援しました。

その時はたまたま岐阜短大付属高校の湯口投手が投げていた試合でしたが、残念ながら負けてベンチ前の土を集めて引き上げて行った？記憶があります。

今は恒例化した「甲子園の土」ですが、ある球児の偶然がきっかけだったというお話をします

1949年（昭和24年）準々決勝最終試合倉敷工業高対小

倉北高は6対6の白熱した試合を展開していました。

小倉北エース福島は、116イニングずっと投げ続けていましたが、土壇場の9回裏に痛恨の2塁打を打たれてしまいました。監督は迷ったあげくピッチャーを交代しました。切なげにマウンドを降りるエース、試合は延長10回に7対6のサヨナラ負けでした。

負けた事より何より最後まで投げ抜けなかった自分への悔しさから、試合終了と同時にベンチから飛び出しマウンドへ行くとそこの土を握りしめ、ユニホームのポケットにしまいこんでしまいました。特別な想いというより、自然にとった行動だったのです。

数日後、福島投手に大会委員長より手紙が届きました。そこには「甲子園の土を良き思い出として下さい。」と書いてありました。球児の行動に感動し、手紙にしたためたのだった。

ところが当の福島投手は土の事などすっかり忘れていました。すぐさまユニホームを引っ張り出すと、そこには思い出の「甲子園の土」があったというわけですが、洗濯をしていけば泥として水に流れていたのですが、その後しっかりと保管したというエピソードがあります。

もう一つの甲子園の土の話は、1958年（昭和33年）沖縄の代表首里高校が甲子園初出場を果し、くしくも敗退して「甲子園の土」を思い出として持ち帰りましたが、当時沖縄は本土復帰前だったため、「植物防疫法」に触れるとあって土の持込は禁止でした。

せっかく持ち帰った思い出の「甲子園の土」は、哀れ海中に捨てられ、沖縄には持ち帰れず、泥と消えてしまいました、という話を聞きました。

まだ高山の地には、甲子園の土はどこにもありません。飛騨の高校球児にも「甲子園の土」を是非持ち帰って欲しいと思います。

〈本日のプログラム〉

社会奉仕委員長 坂之上 健一さん

飛騨慈光会常務理事の、田近 美津子様にお話しします。

中には、話しぶり内容もあるかとは思いますが、どうぞお気を使わず色々とお話下さい。



創 立 1991年 5月 20日

- ◆例会日 / 毎週月曜日・PM12：30～
- ◆例会場 / ひだホテルプラザ3F・☎ (0577) 33-4600
- ◆事務局 / 高山市花園町1-15 丸越商事4F
/ ☎ (0577) 36-0730/FAX (0577) 36-1488
/ 4-16-77115 http://www17.ocn.ne.jp/~t-c-rc/
- ◆会 長 / 松之木 映一 ◆幹 事/永家 将嗣

四つのテスト

- 言行はこれに照らしてから
- 1 真実か どうか
 - 2 みんなに公平か
 - 3 好意と友情を深めるか
 - 4 みんなのためになるか どうか



〈講演〉

社会福祉法人 飛騨慈光会

常務理事 田近 美津子様

飛騨慈光会の現状

飛騨慈光会の田近でございます。本日はお招き頂きましてありがとうございます。いつも皆様方にはお世話になっておまして本当に感謝申し上げます。

今日はお話をということでお声を掛けて頂きましたが、いつもお金が無いという話ばかりですので、今日はどうして特にお金が無いのか？足りないのか？という訳をお話させて頂きたいと思っております。

皆様のお手元にレジメをもってまいりました。障害者自立支援法という法律ですが、皆様にとっては聞き慣れないマイナーな法律だと思っております。

この法律ができてから2年になりましたが、なぜこんなに問題になったかと言いますと、事前の話し合いとか無しに郵政民営化の時に一緒に通されてしまって、私達にはどんな法律になるのか？、何も知らされていませんでした。

一度法律が出来てしまうと、簡単には直していただけません。今は少しずつではありますが、修正されてきてはいます。しかし根本の所が直していただけないので、問題というものは残っていくのではないかと思っております。

それによって利用される方も、私ども事業所も、本当に大変なことになったということをお話させていただきたいと思っております。

以下資料にそって説明させていただきます。

ということで講演して頂きました。



〈ニコニコBOX〉

本日はお世話になります

高山西ロータリークラブ 鍋島 勝雄さん

社会福祉法人 飛騨慈光会常務理事 田近 美津子様高山中央RCへようこそおいでくださいました。福祉の問題点等お話いただき色々とお勉強させていただきます。

高山西RC 鍋島勝雄様ようこそ中央RCへ明るい笑顔、いつでも気楽に寄って下さい。 執行部一同

高山西RC 鍋島さんのご来訪を歓迎いたします。

飛騨慈光会 田近様には日頃からお活躍、本当にご苦労様です。本日は宜しくお願ひ申し上げます。

溝原 清嗣さん



資料 障害者自立支援法のあらまし

1. 障害者のサービスを一元化する

- ・知的、精神、身体障害者に、共通の制度でサービスを提供
- ・障害程度区分認定の矛盾
- ・サービスを選択できない

1. 障害者への就労支援と所得保障

- ・働く場の確保困難
- ・ジョブコーチ

1. 拡大する福祉サービス等の費用をみんなで負担しあう仕組みの強化

- ・利用したサービスの量や、所得に応じた公平な負担
- ・サービス利用抑制
- ・利用者負担減免措置

1. 日額制による施設経営の減収

- ・利用者の増員
- ・通所者の増日
- ・サービス低下
- ・単価の設定が低い

◎見直し議論

- ・自民党の中に委員会を立ち上げて、見直しを検討している。
- ・介護保険との統合はないと明言
- ・抜本的な見直しにはならない……日額制は残す。
- ・新事業移行も簡単にできない。

〈会報委員会 渡辺 修治〉

嫁の誕生日にお花をいただきありがとうございました。

三枝 祥一さん

高山西RC 鍋島様のご来訪を歓迎申し上げます。

本日はお話し頂く飛騨慈光会 田近様には当社がやっておりますNPO「まちかどねっと」で、やまゆり支援センター様の方で大変お世話になっております。

本日はよろしくお願ひ致します。 久々野 国良さん

飛騨慈光会 田近様、本日は宜しくお願ひ申し上げます。中には話しづらい内容等あるかとは思いますが、どうぞ気を使わずに、色々とお話し下さい。

坂之上 健一さん